

カニトリ草

白色、至テ硬シ、淡竹葉ニ同名アリ、古方ニ用ユル所ノ者ハ、即淡竹ノ葉ニシテ、コノ淡竹葉ニ非ズ、又蓋草コブナクサ鴨跖草ニモ此ノ名アリ、

〔倭訓栞前編六〕かにとりぐさ 細草也、蔓草の如し、其葉相對せず、是を生兒の祝儀に用ゐるは、蟹

採の義也、又秧稻と豫知子とを産帶にもた、みこみ、又産衣を贈るにも、是を添ておくるを古法とすといへり、

〔大和本草九雜草〕カニトリ草 細草也、蔓草ノ如シ、其葉兩々相對セズ、和禮ニ祝儀ニ用ユ、シノブラ

用ルハ、アヤマリナリ、紋ニモ付ル、

〔多識編二〕地楊梅、今案久左毛。

〔物類品隲三〕地楊梅 和名ヒメスグ、所在ニ多シ、藏器曰、苗如沙草、四五月有子、似楊梅也、ト、此物穗

ヲ出サ、バル時、沙草ト紛レヤスシ、莖ヲ生ズルコト二三寸、子形頗楊梅ニ似テ、色青シ、先輩地楊梅

ヲス、メノヤリトスルハ、誤ナリ、ス、メノヤリハ、救荒野譜ノ看麥娘ナリ、

〔重修本草綱目啓蒙十二〕地楊梅 ス、メノヤリ シ、バクサ ス、メノハカマ 勢州 ヤリグサ

ス、メノヒエ 播州 カマコシバ 河州 カヘルグサ 江州

原野道傍ニ極テ多シ、細葉叢生シテ、莎草カヤツリクサ葉ノ如シ、長サ二三寸ニシテ、微毛アリ、冬春バ紫色ヲ帶

ブ、暖ニ向ヘバ、綠色トナル、二月叢中ニ數莖ヲ抽テ、其頂ニ一毬ヲ結ブ、大サ三四分、形楊梅ヤマモノ如ク

褐色ナリ、初メ毬外ニ小黃藥ヲ吐ス、コレ其花ナリ、後毬中ニ細子ヲ結ブ、蓼子ノ如シ、肥地ニ生ズ

ルモノハ、葉長サ七八寸、毬モ亦大ナリ、

〔和爾雅七〕知風草チカラクサ 節則無風出節云南海有草叢生如藤蔓土人視其節以占一歲之風每一節則一風無

類林、潛確類 書亦載此草、

〔倭訓栞前編十五〕ちから草は知風草也

知風草

地楊梅